

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>由布市はさま家庭教育支援チーム</u> (呼称: はさま未来クラブ)
②活動拠点	由布市(挾間公民館(はさま未来館))
③活動範囲	挾間中学校区、挾間町内全域 等
④組織体制	<u>16人</u> 地域人材活用指導員 1人、子育てサポーター 8人 コーディネーター 2人、保育士 4人、社会福祉士 1人
⑤活動開始年度	<u>平成22年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等)由布市教育委員会社会教育課・北崎 英梨 (TEL)097-582-1203 (E-mail)social_edu@city.yufu.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<p>■保護者等への学びの場の提供</p> <p>■保護者等への地域の居場所づくり</p> <p><input type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> { <input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </p> <p><input type="checkbox"/>その他()</p>
②活動対象 (複数チェック可能)	<p>■乳幼児 ■小学生(低学年) ■小学生(中学年) ■小学生(高学年)</p> <p>■中学生 <input type="checkbox"/>高校生以上</p> <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっこりカフェ 転入に伴い急速に人口増加する狭間中学校区において、地域コミュニティの希薄化や核家族、身近に頼れる家族がいないなど、子育ての援助や相談など出来る人がいないという保護者の困りに対応するため、平成 28 年度より、土曜日に、ゆっくり話せる空間の提供と保護者自身が学べる講座を開講した。子育てのヒントや相談ができ、保護者自身がリフレッシュできるよう、ヨガやセラピーを取り入れた教室を開講している。 ・子どもルームはさま 子育て親子の交流の場を提供し、子育てに関する相談・援助、情報の提供、子育てに関する講習会等を実施することで、子育て家庭の子育ての不安感、負担感等を緩和するとともに、地域の子育て力の向上を図ることを目的としている。 ・学楽多塾 親子クッキング教室の開催 子どもの一年の成長を確認し、普段先生方からどのような指導をいただいているのかや、地域の伝統料理や豆知識など、親子で一緒に作業しながら地域の方に学ぶ教室を開催している。 ・広報紙の作成・配布 子育ての情報など機関紙を使った広報を実施 ・ミーティング 月に 1 度、関係者が集まり、情報共有や、より良い対応方針について相談している。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>自分の時間がとれない保護者が多い中、すこしでもほんわかリラックスできる時間のきっかけを作る場のひとつとして「ほっこりカフェ」を開催している。アンケートでは、「講師との会話を癒された」「みんなで話していたら、育児の不安は私だけではないと安心した」などの感想があり、今後も居場所づくりを通じて、子育て世代の元気の応援ができればと考えている。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()